

スーパーマッフル・デジタル22.23専用

不動産業

地価公示データを取り込む方法

目次	ページ
■地価公示データをGeoJSONで取込む ※GISデータはラベル項目が未設定のため、「エクセル」編集により「名称設定」もできます。	2
■オープンソースソフト「QGIS」ダウンロード ※「QGIS」で取込「KML」ファイルに変更し取込みます。	5
■「QGIS」にシェープファイル (.shp) 取り込みKMLに変換/出力 ※名称表示できるようKMLに出力します。	6
【応用編】 ■取込テンプレートや公示地価をグラフ&クラス分けにする方法	10

【ご注意】

このマニュアルで記載している「地価公示」データは、「国交省 国土数値情報ダウンロードサービス」で提供している「1.国土(水,土地)」から「地価」の「地価公示」データを使用しております。

【参考】

■地価公示など国土交通省で提供されているデータは、GMLフォルダーに圧縮して、整備されています。その中の、「GeoJSON」のデータはスーパーマッフル・デジタルで直接「取込む」ことができますが、GIS用のデータには「一般の地図」で表現する名称項目の設定が未定になっていることが多くあります。そのようなデータは「スーパーマッフル・デジタル」や「他の地図ソフト」などで「名称未設定」となる場合があります。

スーパーマッフル・デジタル24以降では、「名称」の設定や編集などが容易にできるようになりました。

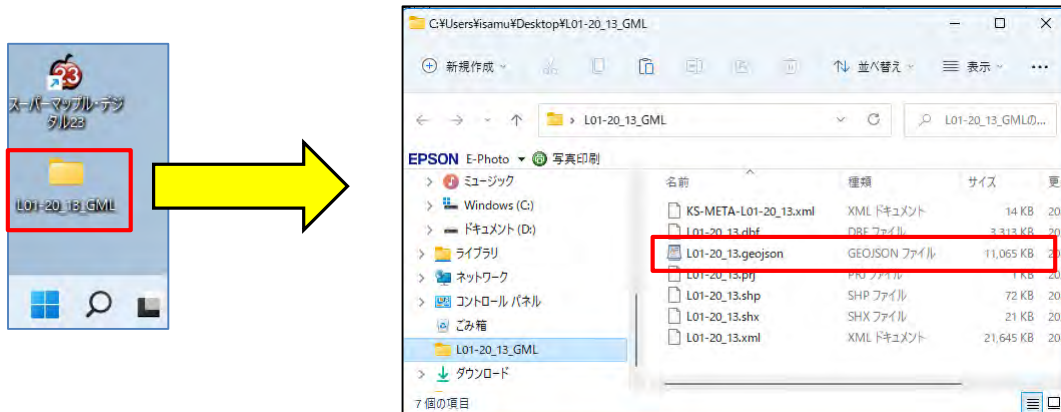
または、シェープファイルを、「QGIS」ソフトを利用して、「KML」に変換し、データをスーパーマッフル・デジタルへ取り込むと、地価公示データの名称を表示することができます。



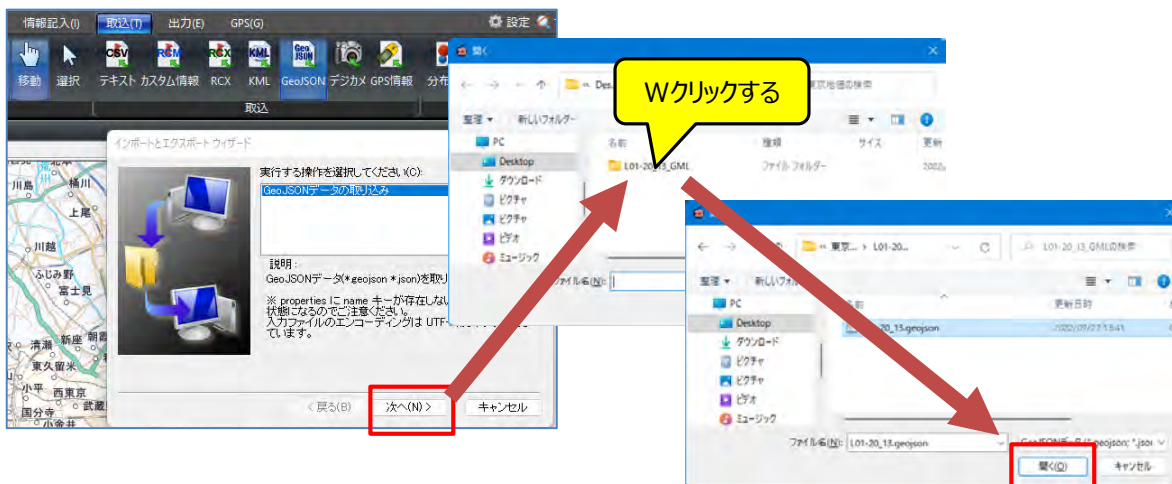
※QGISがあると多くのファイル形式を変更でき、スーパーマッフル・デジタルで活用出来ます。
 QGISは「3.16」のバージョンで記載いたしました。

【地価公示データをGeoJSONで取込む】

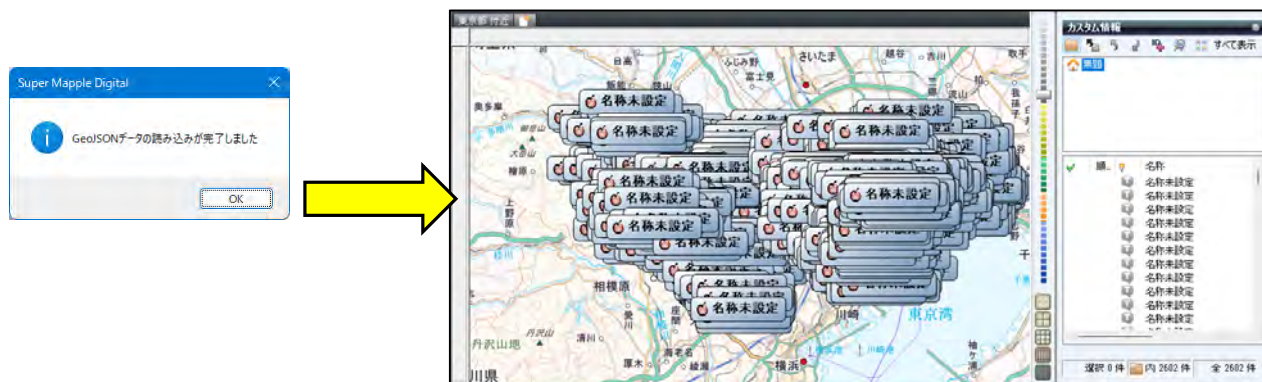
- ① 「国土交通省」の「地価公示データ」サイトから、任意のエリアをダウンロードしファイルをWクリックします。
 ディスクトップに解凍すると、作業が行いやすくなります。
 ※GMLフォルダー内にある「XXX.geojson」を使用します



- ② [取込] の「GeoJSON」を選択し、[次へ] をクリックし、ダウンロードした「GML」ファイルをWクリックすると GeoJSONのファイルが表示されますので、選択して [開く] をクリックすると、「取込」が始まります。
 ※取り込むデータ量により、数分から数十分かかります。




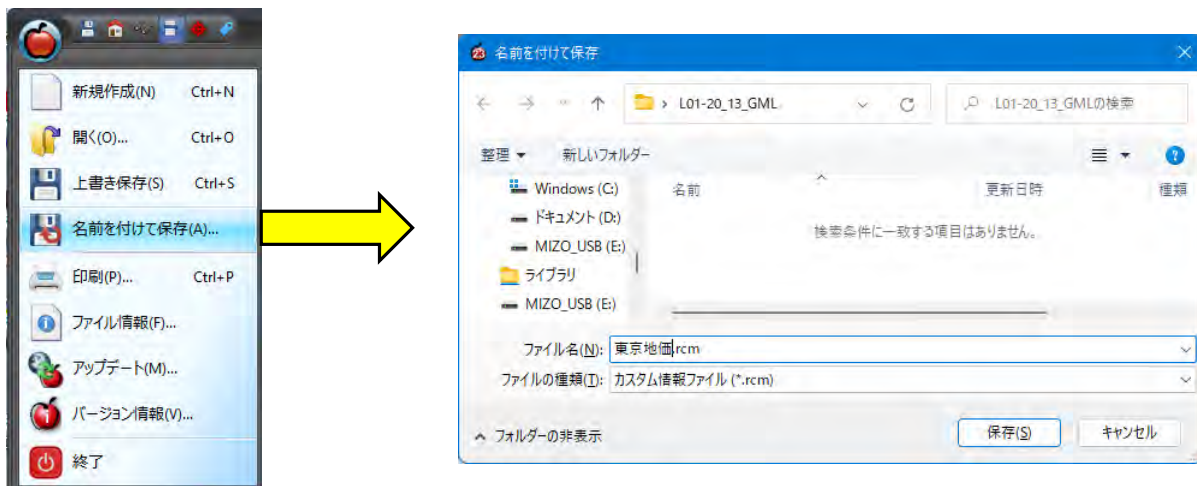
- ③ [取込] が完了しましたら [OK] をクリックしてください。表示されます。
 ※GIS用のデータには「一般の地図」で表現する名称項目の設定がない場合があり、「スーパーマップル・デジタル」や「他の地図ソフト」などでは「名称未設定」となることもあります。




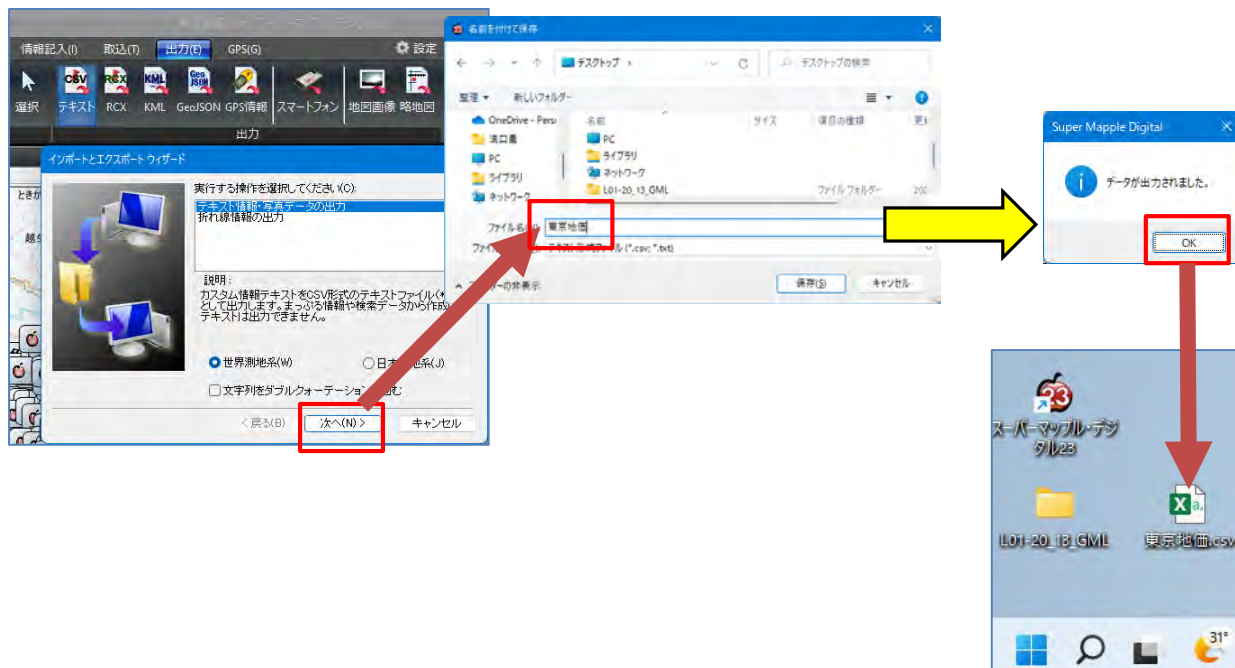
【ポイント】

「名称表示」をする場合はP4を参照して「エクセル」を利用し、「項目」を設定することにより、名称表示ができます。

- ④ 画面左上の  リンゴアイコンをクリックして「名前を付けて保存」で任意の場所に「保存」してください。
 スーパーマップル・デジタル専用ファイルである、カスタム情報ファイル(*.rcm)として保存されます。
 ※例：名称は「東京地価」、



- ⑤ 名称を表示するため  の「開く」から「東京地価.rcm」ファイルを開き、「出力」の「テキスト」を選択、「世界測地系」を確認し「次へ」をクリックします。
 ファイル名を入力し、「保存」をクリックすると「データが出力されました」が表示されますので「OK」をクリック。
 「テキストファイル(*.csv)」として出力されます。
 ※例：ファイル名は「東京地価」。
 このファイルを、P4を参考に「エクセル」で編集し「取込」することにより、「名称表示」ができます。



【GMLフォルダー内にあるシェープファイルをKMLに変更するためQGISのダウンロード】

- ① オープンソースソフト「QGIS」（無料）を事前にダウンロードするため、インターネット検索で「QGIS」と入力します。「QGISプロジェクト」や「QGISのダウンロード」などから、ダウンロードファイルを選択してください。環境により15分前後の時間を要します。

ダウンロードサイトの例です

QGISプロジェクトへようこそ!
<https://qgis.org/ja/site>
 QGISプロジェクトをサポートしてください。クールです！あなたのスタイルと好きな色を私たちのサポートを示してください。 **QGISグッズ!** Windows, Mac, Linux, BSD とモバイル

ダウンロードする
 QGISは次のライセンス条件で提供されるオープンソースソフトウェアです。 GNU ...

ドキュメント
 QGISにはたくさんのドキュメントが英語で作成されていますが、ユーザーガイド ...

QGISについて
 機能 QGIS は継続的に、膨大な数の機能をコアやプラグインの形で提供していま ...

参加する
 QGISを翻訳する QGISプロジェクト 親切なGISの解説を提供していま

寄付
 Account name: QGIS.ORG Address: Boeschacherstrasse 10a CH-862

QGISのインストーラー
 注釈: むやみにOSGeo4Wのファイルを行わないようにしてくださ

Windows版のダウンロード

OSGeo4WのQGIS (一般ユーザーに推奨):

OSGeo4W Network Installer

インストーラの中でExpress Installを選択し、QGISのlatest releaseを選択してインストールするか QGIS LTR long term releaseを選択してインストールしましょう。
 Express Installには非フリーソフトウェアを含むオプションパッケージが存在します。非フリーソフトウェアをインストールせず使用するには上級インストールを選択し、qgisか qgis-ltr またはその両方をデスクトップセクションから選択してください。

注意: Upgrades of old setups from OSGeo4W v1 using this repository are not supported. You need to do a fresh install or use a different directory.
 注意: 32 bit binaries are not produced anymore. Also Windows 7 no longer works as we are now using Python 3.9, which dropped support for it.

OSGeo4Wパッケージからのスタンドアロンインストーラー (MSI) (新規ユーザーに推奨)

最新リリース (機能が最も豊富):

↓ QGIS スタンドアロンインストーラーバージョン 3.26
 sha256

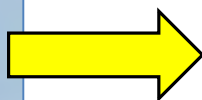
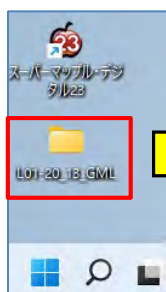
長期リリース (最も安定):

↓ QGIS スタンドアロンインストーラーバージョン 3.22
 sha256

is because they include significant larger packages (eg. PROJ 8). The main reason for the switch to MSI were the size limits previously used NSIS has, which was blocking updates of dependencies.

どちらのファイルでもOKですが「長期リリース」を推奨します。

- ② 収録した「QGIS-XXXXXXX」（XXXXXXはバージョンを表します）をWクリックし、「インストール」してください。インストール方法は「QGIS」のサイトを参照してください。
- ③ KMLに変更するためのデータは、ダウンロードしたGMLフォルダー内にある「シェープファイル（XXX.shp）」を使用します



C:\Users\#isamu\Desktop\L01-20_13_GML

新機作成 並び替え 表示 ...

L01-20_13_GML

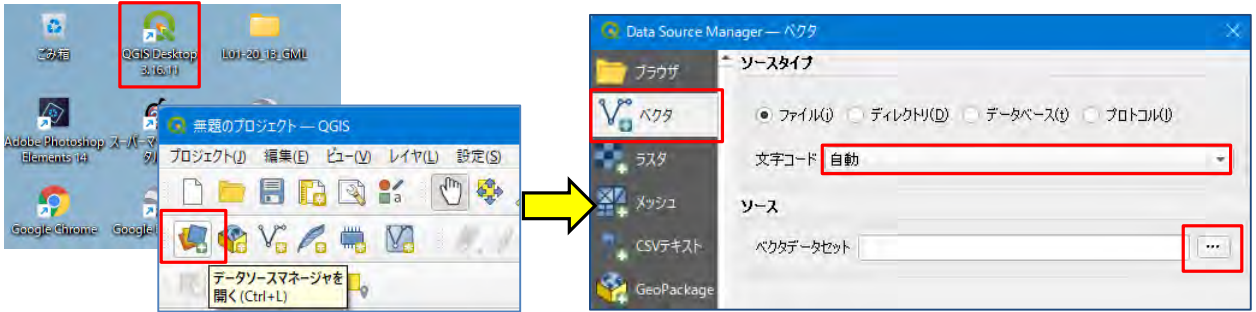
EPSON E-Photo 写真印刷

名前	種類	サイズ	更新
KS-META-L01-20_13.xml	XML ドキュメント	14 KB	2022
L01-20_13.dbf	DBF ファイル	3,313 KB	2022
L01-20_13.geojson	GEOJSON ファイル	11,065 KB	2022
L01-20_13.prj	PRJ ファイル	1 KB	2022
L01-20_13.shp	SHP ファイル	72 KB	2022
L01-20_13.shx	SHX ファイル	21 KB	2022
L01-20_13.xml	XML ドキュメント	21,645 KB	2022

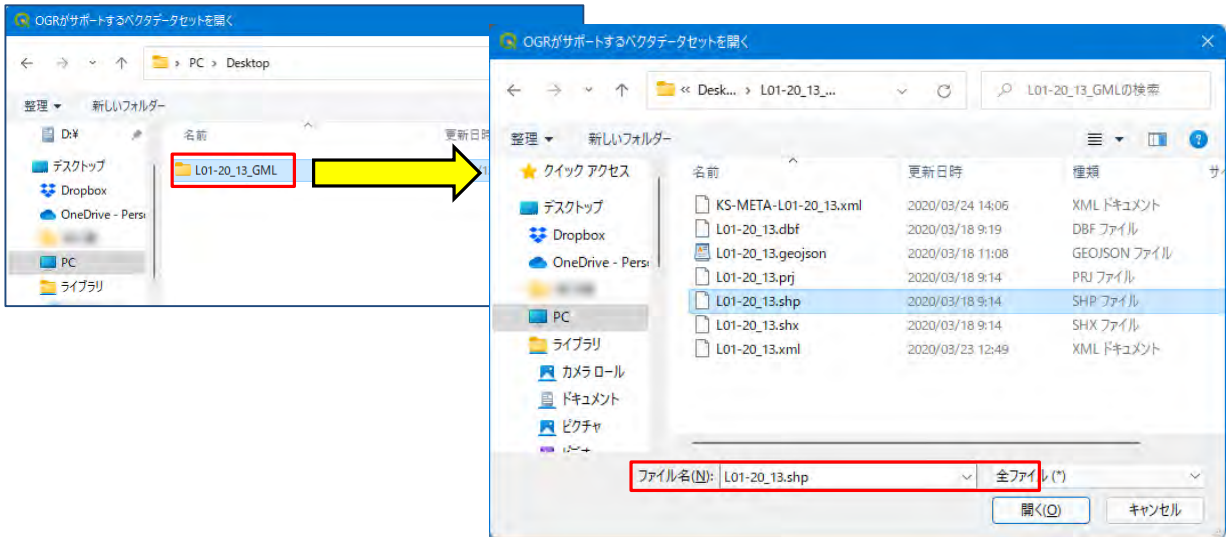
7 個の項目

【「QGIS」にシェープファイル（.shp）取り込む】

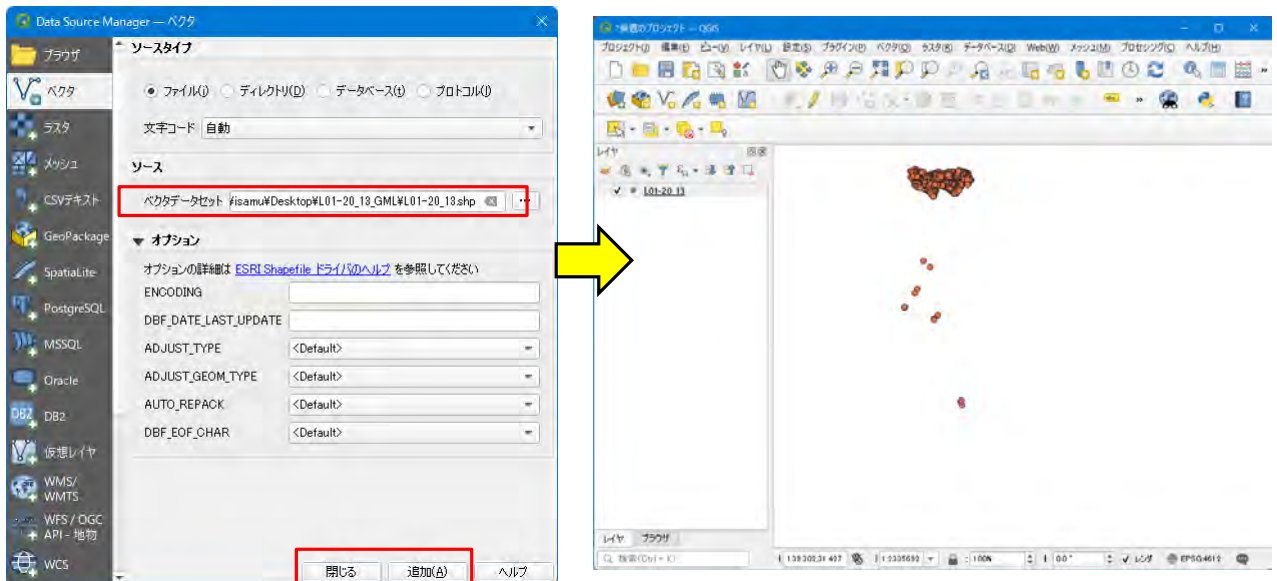
- ① 「QGIS」を起動後「データソースマネージャ」を開き「ベクタ」で、「ソースタイプ」はファイル「文字コード」は自動を確認、ベクタデータセットの「…」をクリックし取り込むファイルを選択します。



- ② ここではサンプルデータとして、東京地価の公示データ「L01-20_13_GML」を使用します。Wクリックして開き、「L01-20_13.shp」を選択、「開く」をクリックします。

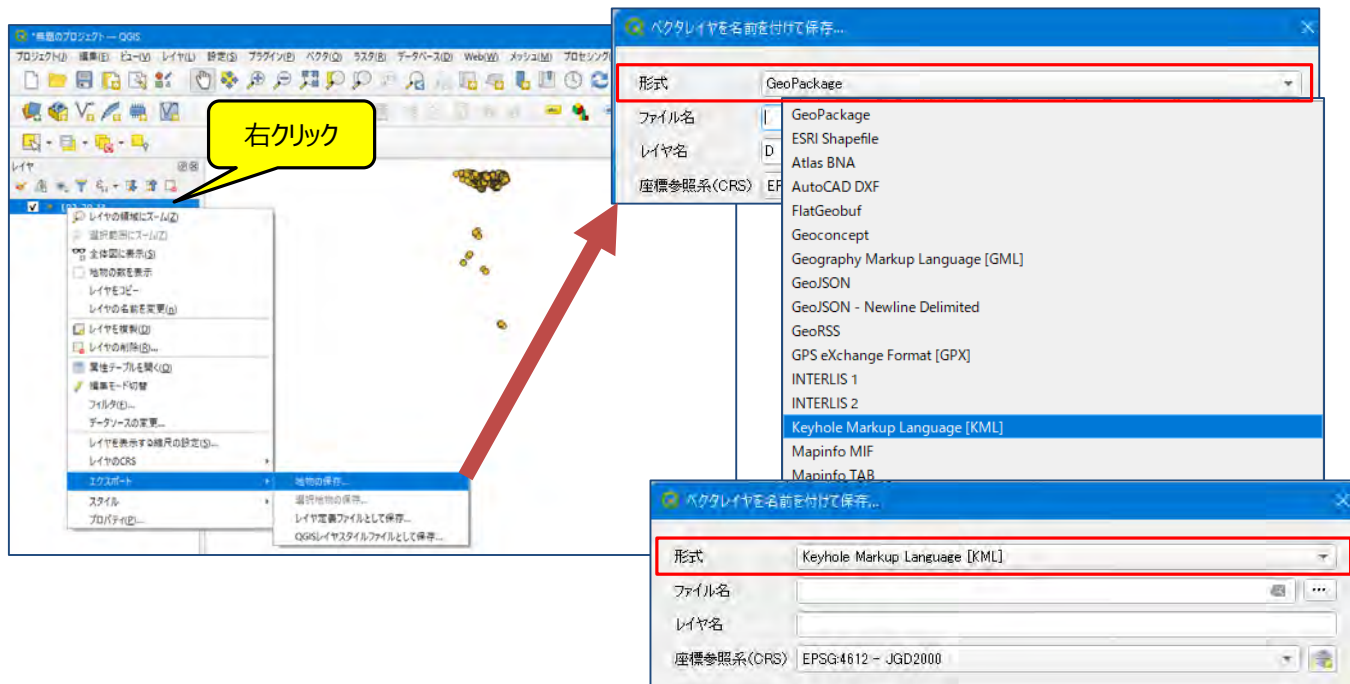


- ③ 「ベクタデータセット」欄に表示されましたら「追加」をクリック、取り込まれますので「閉じる」をクリックします。



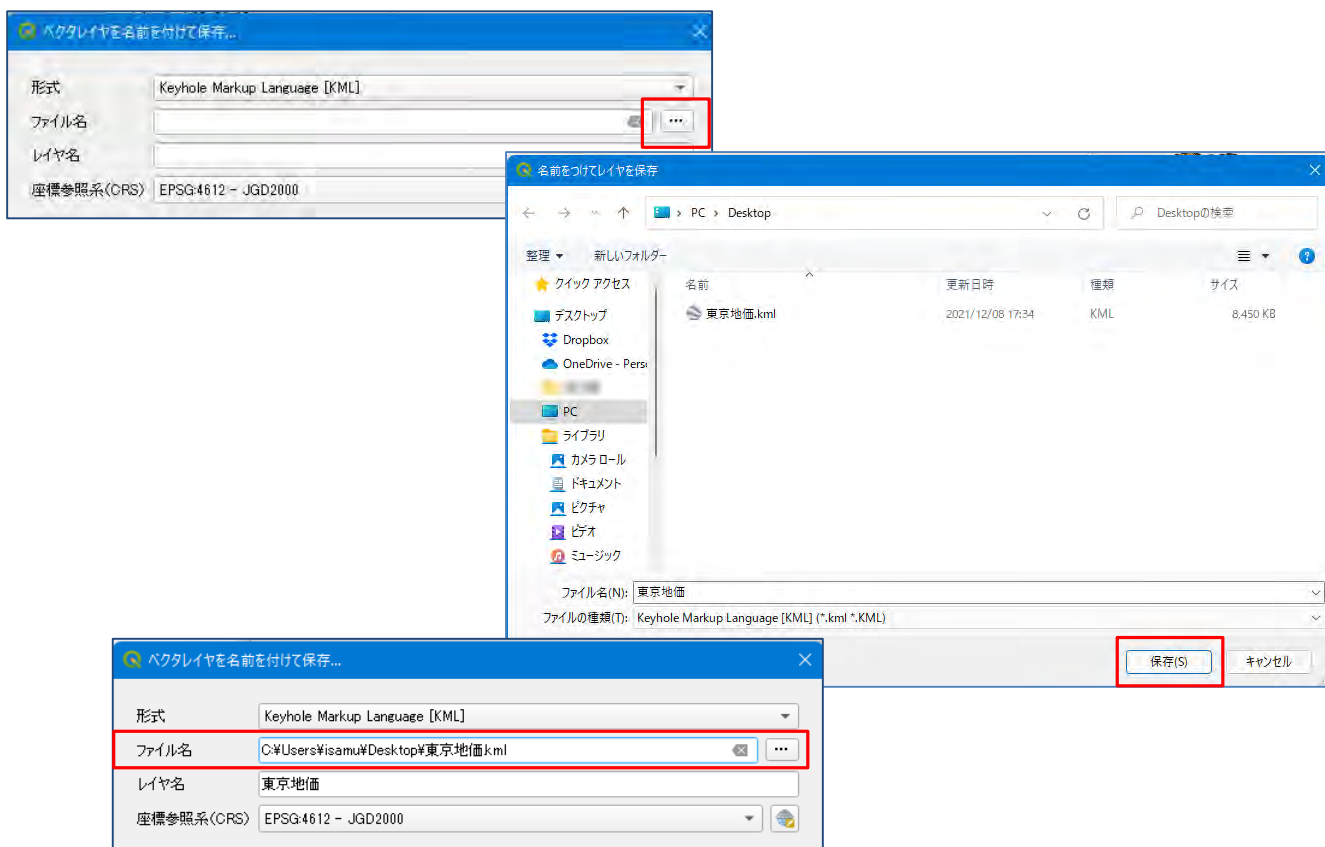
【「QGIS」でシェープファイル（.shp）を「KML」ファイルでエクスポート（出力）する】

- ① 「レイヤ」のファイル名上で右クリック、「エクスポート」の「地物の保存」をクリックすると「ベクタレイヤを名前を付けて保存」が開きます。「形式」の▼をクリックし「KML」を選択してください。



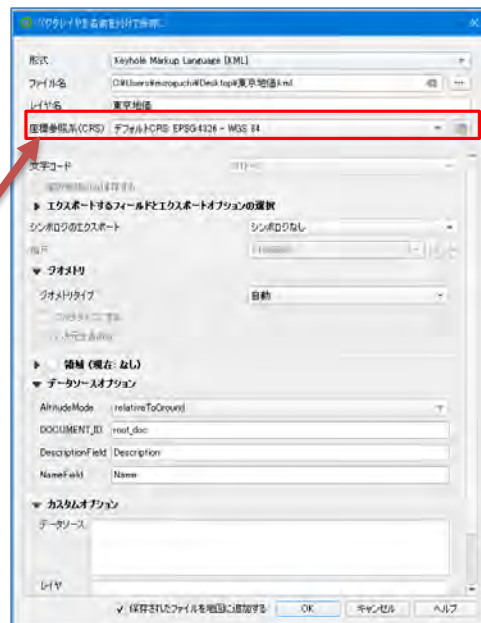
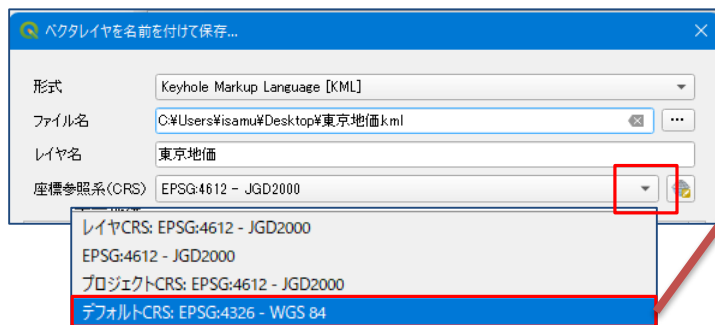
The screenshot shows the QGIS interface with a dialog box titled "ベクタレイヤを名前を付けて保存...". The "形式" (Format) dropdown menu is open, and "Keyhole Markup Language [KML]" is selected. A yellow callout bubble with the text "右クリック" (Right-click) points to the layer name in the layer panel on the left. The dialog box also shows fields for "ファイル名" (File name), "レイヤ名" (Layer name), and "座標参照系(CRS)" (Coordinate Reference System) set to "EPSG:4612 - JGD2000".

- ② 「保存」する場所と名前を設定しますので「ファイル名」の [...] をクリックし保存場所とファイル名を記入し[保存]します。
例：東京地価



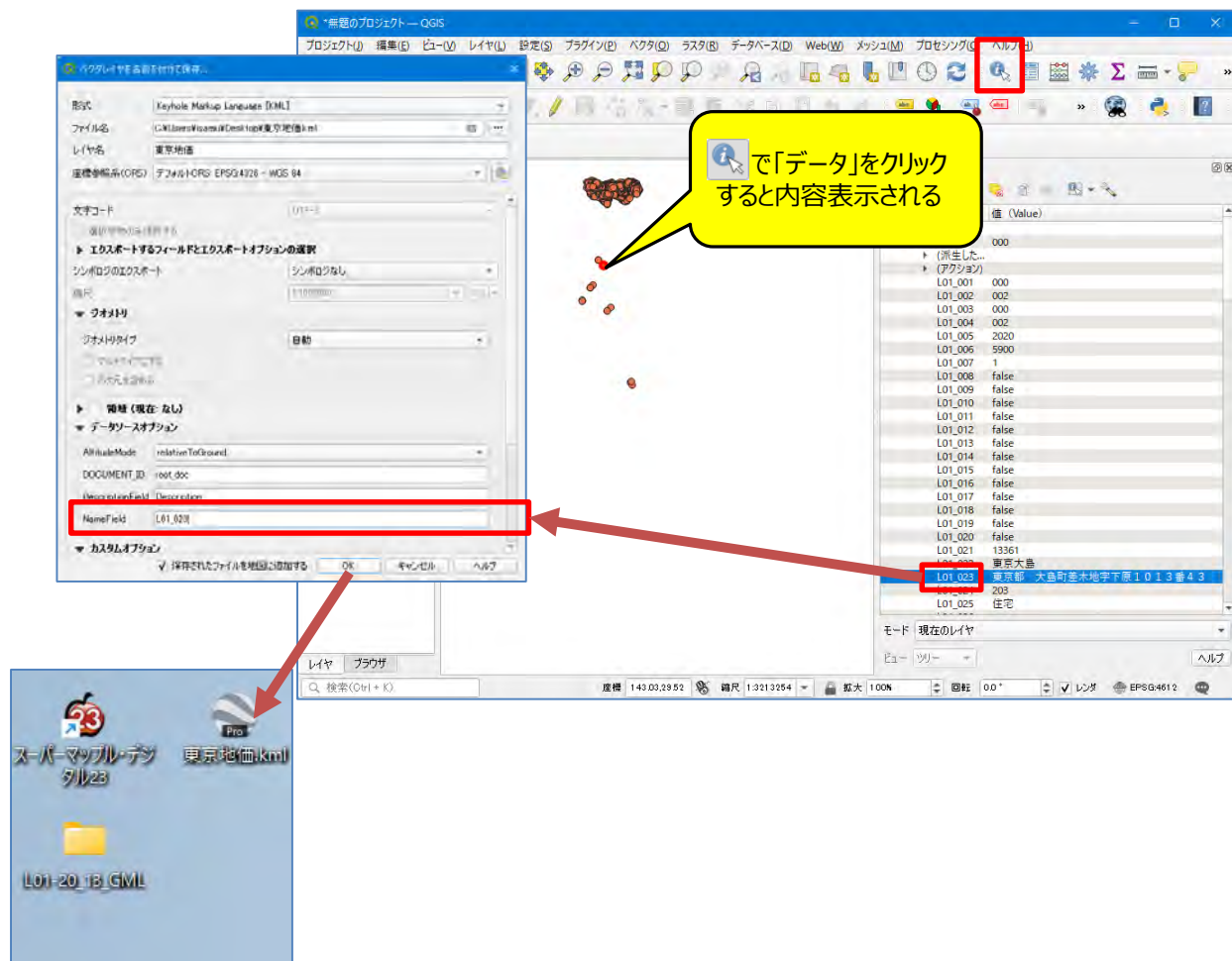
The screenshot shows the "ベクタレイヤを名前を付けて保存..." dialog box with the "形式" dropdown set to "Keyhole Markup Language [KML]". The "ファイル名" field is highlighted with a red box, and the [...] button next to it is also highlighted. Below the dialog box, a Windows File Explorer window shows the Desktop folder with a file named "東京地価.kml". The dialog box is then shown again with the file path "C:\Users*\isamu\Desktop*東京地価.kml" entered in the "ファイル名" field. The "保存(S)" button is highlighted with a red box.

- ③ 次に「座標参照系(CRS)」を設定しますので ▼ をクリックし、「デフォルトCRS：EPSG：4326-WGS84」を選択します。

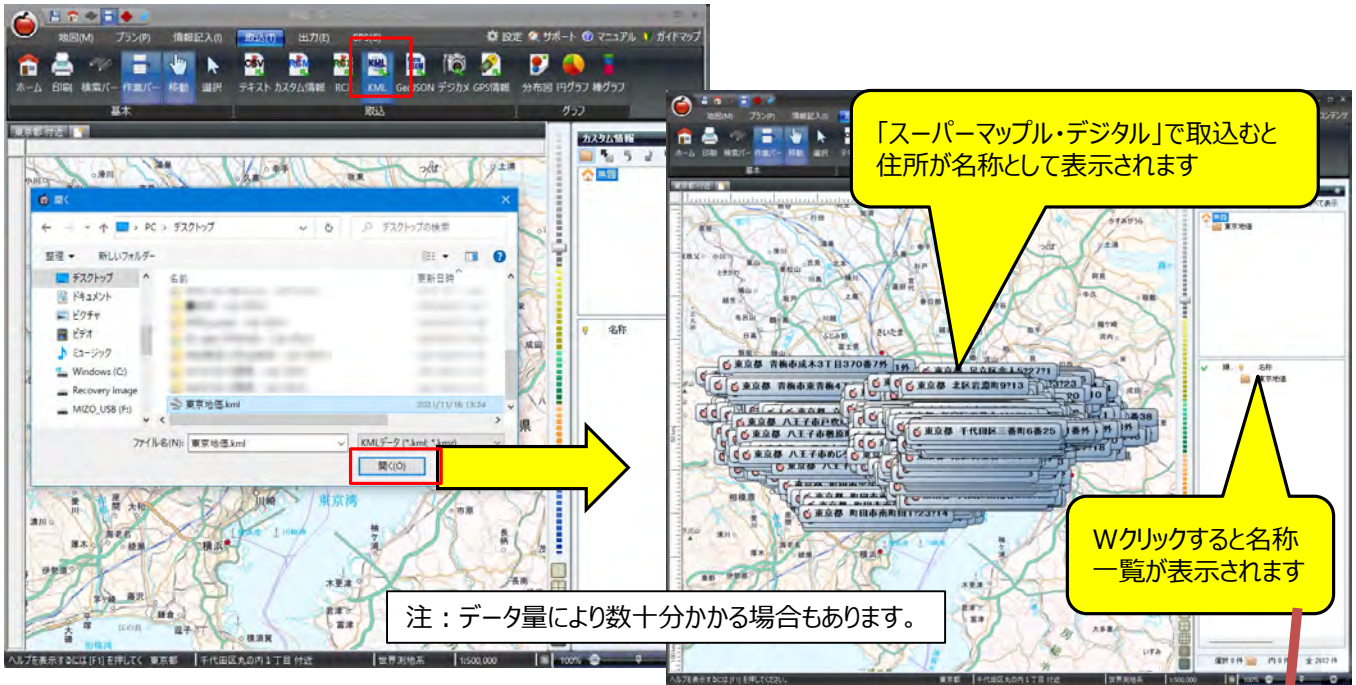


※「保存されたファイルを地図に追加する」の☑を外してもエクスポート(出力)はできます。

- ④ 「KML」にエクスポートする前に、「QGIS」の ⓘ を選択後、「データ」をクリックすると内容が表示されますので、「地物」項目から表示させたい「名称」（例：「L01_023」）を「NameField」欄に記載し、[OK] をクリックします。「スーパーマップル・デジタル」で名称が表示される「KML」ファイルでエクスポートされます。



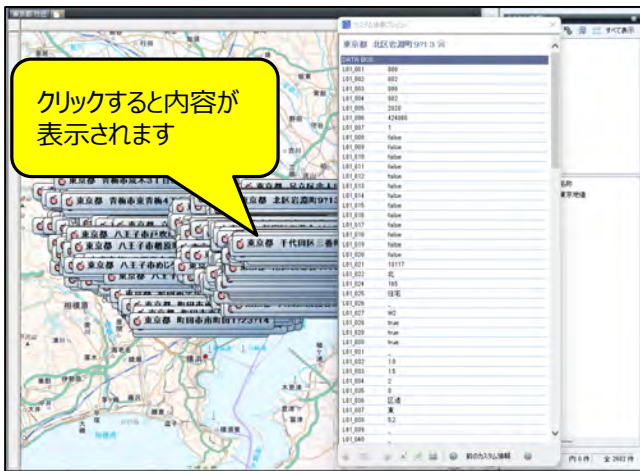
⑤ スーパーマップル・デジタルを起動し [取込] の [KML] をクリックし、該当のファイルを選択し [開く] で取込みます。



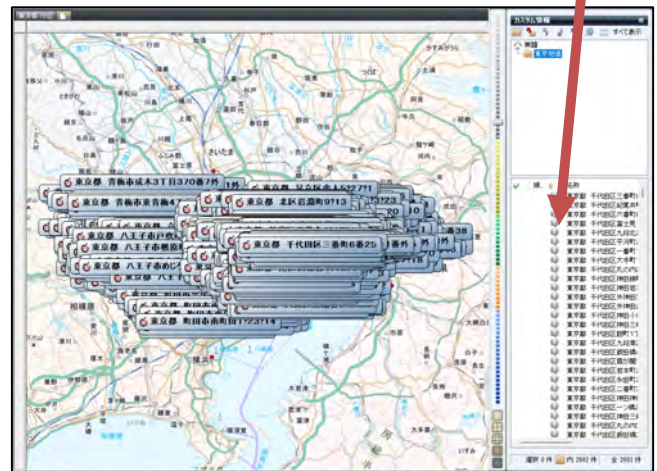
「スーパーマップル・デジタル」で取込むと住所が名称として表示されます

Wをクリックすると名称一覧が表示されます

注：データ量により数十分かかる場合もあります。



クリックすると内容が表示されます

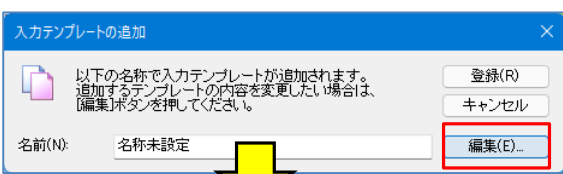


【応用編】取込時のテンプレートでアイコンや名称の大きさなどを事前設定する。

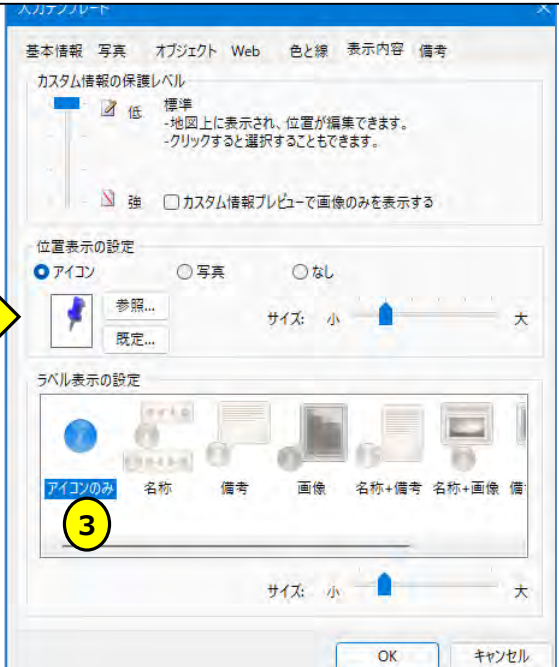
- ① 「情報記入」の「テンプレート」の「追加」をクリックし、データ取込時のオリジナル形式を作成します。



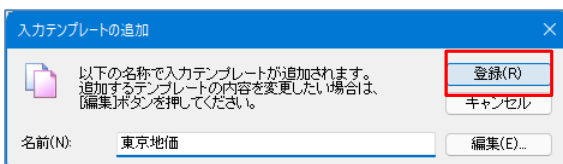
- ② 「テンプレートの追加」の「編集」をクリックすると、入力テンプレートが表示されますので、オリジナル形式を作成します。



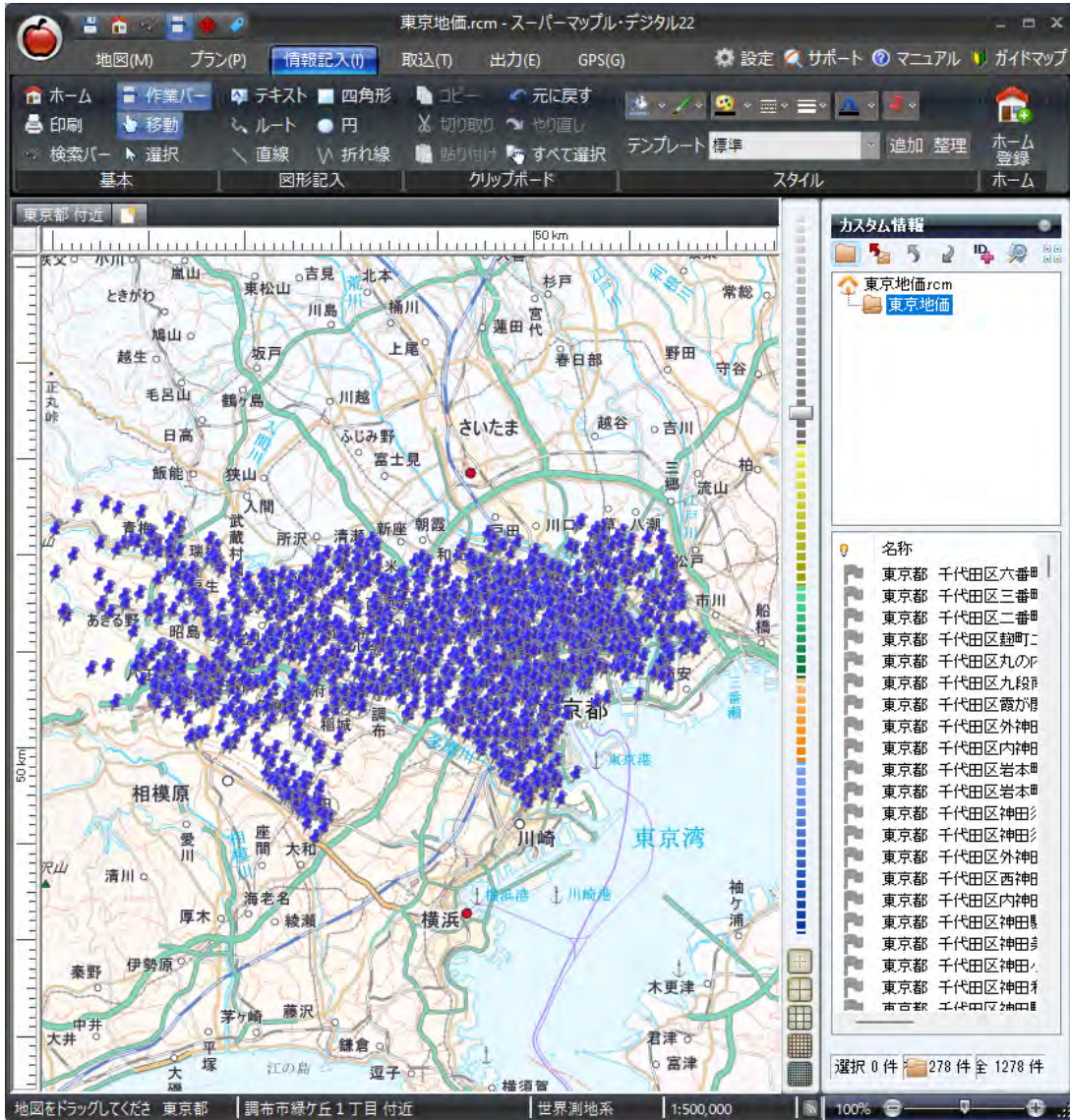
- ①「内容表示」をクリックします。
 ②「アイコン」の「既定」から任意のアイコンを選択します。
 （例：📍）
 ③「アイコンのみ」での表示にし、[OK] クリックします。
 ※表示の大きさは「サイズ」スライダーで調整可能です。



- ③ テンプレートの「名前」に記入し、[登録] を選択すると「テンプレート」に登録されます。データを取込前に作成し、選択しておくことにより、取り込んだ後の作業が楽になります。



【テンプレートの設定を習得すると、快適な地図表示が可能となります。】

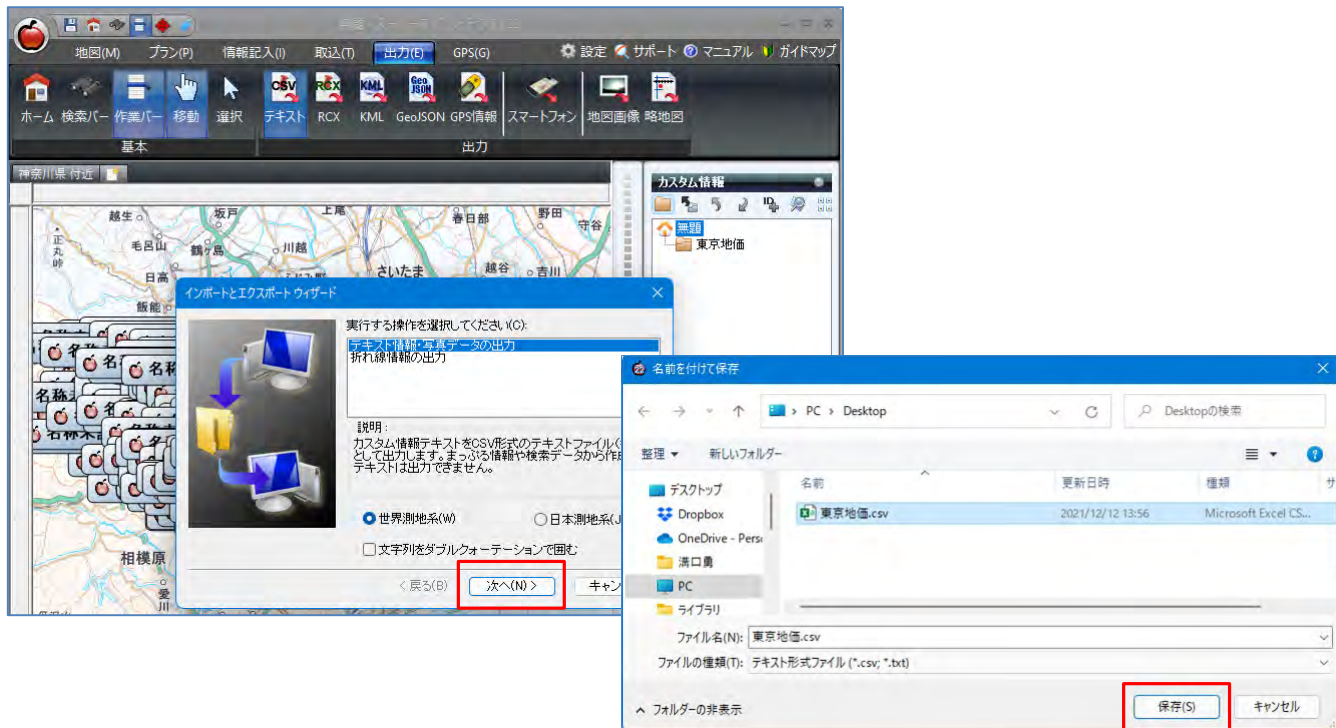


次は、地図上に公示地価を「棒グラフ」で表示する方法と「土地の用途区分」をフォルダーによる「クラス分け」を記載します。

【公示地価をスーパーマップル・デジタルで「テキスト」データで出力しグラフ化します。】

※KMLファイルを取込後行います。

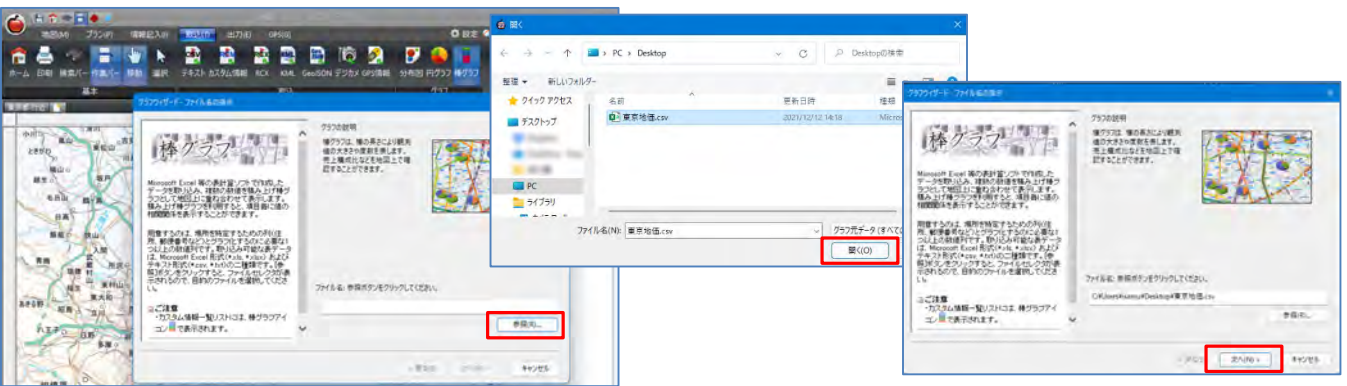
- ① [出力] の [テキスト] を選択し、「テキスト情報・写真データの出力」、「世界測地系」を選択、[次へ] をクリックします
[名前を付けて保存] で「ファイル名」を記載し、[保存] します。



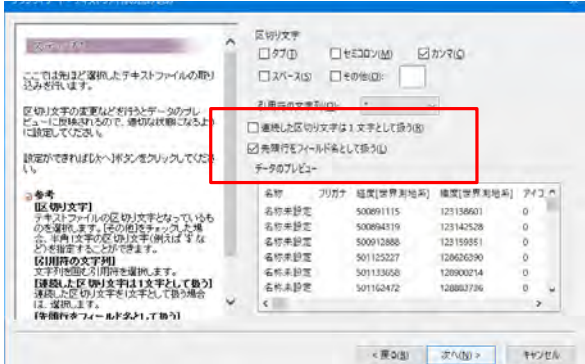
- ② 保存した「東京地価.CSV」をエクセルで開き確認してください。
スーパーマップル・デジタルでの項目が追加されています。
(注：マニュアルでは項目数が多いので途中項目を割愛して記載)



③ スーパーマップル・デジタルの [取込] の [棒グラフ] をクリックし、[グラフウィザード] の [参照] で、「東京地価.csv」を選択し、[開く] の [次へ] で取込みます。



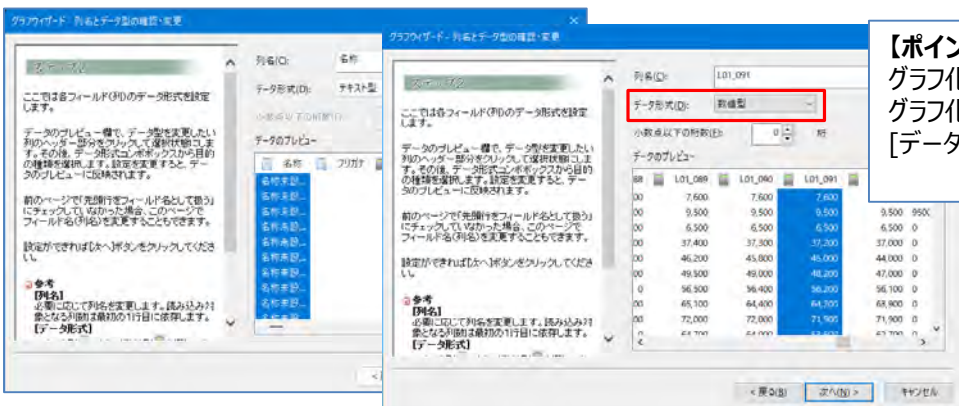
④ 「データのプレビュー」で表示されているデータを確認し、[次へ]。



【ポイント】
「先頭行をフィールド名として使う」に丸が入っていること。
*フィールド名はどの列をグラフに割り当てるか、設定するときの名称(項目名)です。

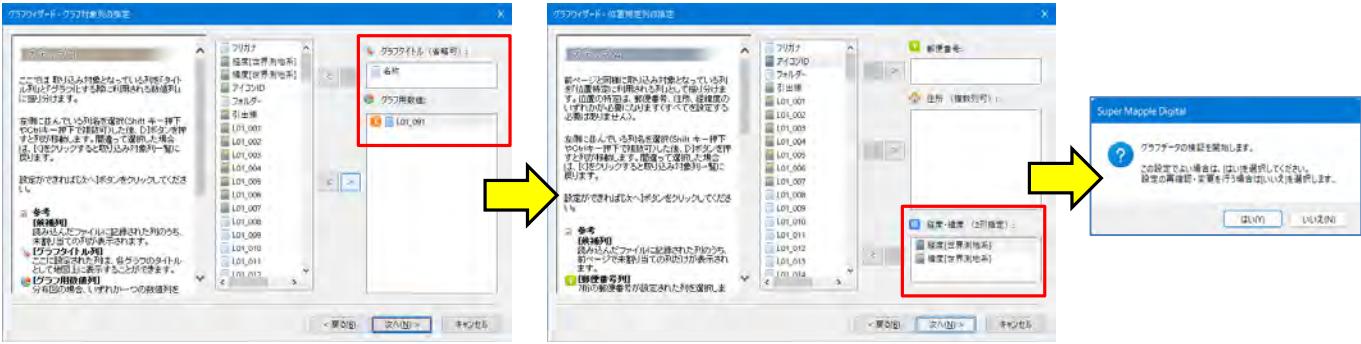
⑤ 列名とデータ形式を横のスライダーで確認し、[次へ] をクリックします。

・項目の名称をクリックするとデータ形式がわかります。また項目名の前にある「数値アイコン」で確認できます。

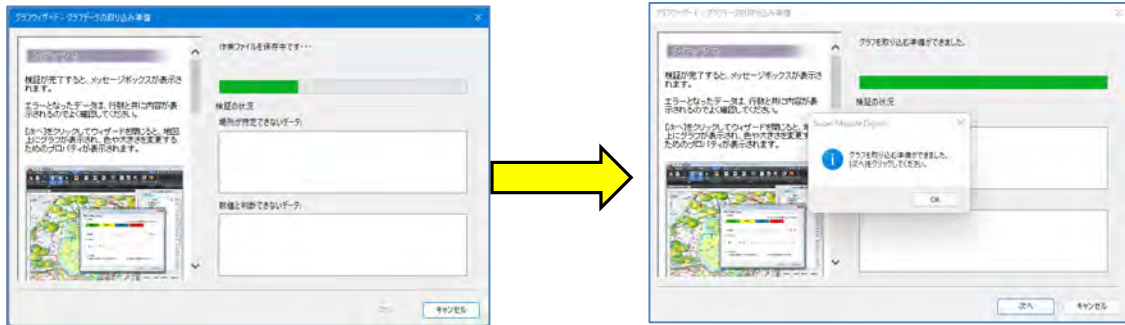


【ポイント】
グラフ化する「列名」が「テキスト型」だとグラフ化ができません。
[データ形式]で「数値型」に変更します。

⑥ グラフタイトルには通常「名称」を選択し、「グラフ用数値」に任意の項目を選択し [次へ]。(例：L01_091)
「経度・緯度」を選択し [次へ] の [はい] をクリックすると「データ」を読み「グラフ」化を行います
*「グラフタイトル」は省略しても構いません。



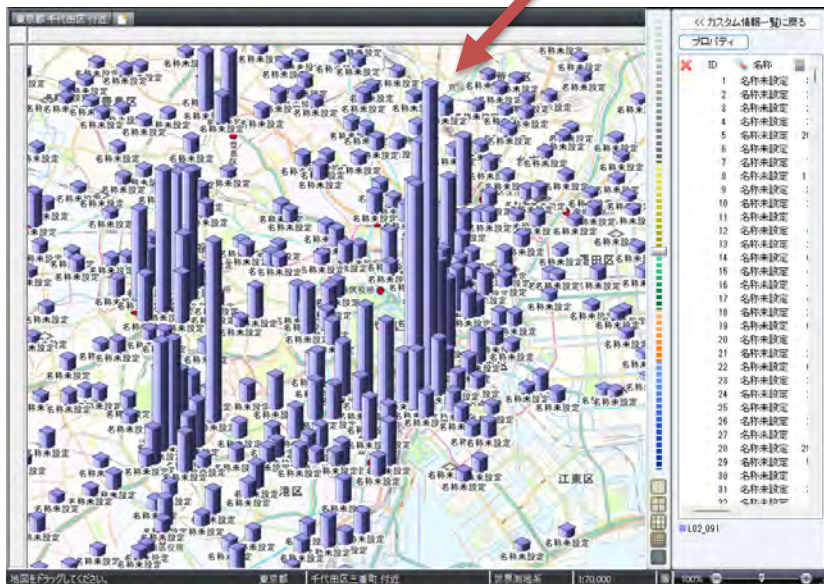
- ⑦ グラフ化の準備が始まります。(注：データ数に応じて数分～数十分の時間がかかります)
完了しましたら、[OK] の [次へ] をクリックしてください。



- ⑧ グラフが表示されますので任意に設定してください。(例：最大値の設定で100mm、最小値は1mm、幅の設定は5mm)

【ポイント】

- ・ 枠内の「グラフの色」「グラフのサイズ」を設定することにより、表示バランスを変更することができます。
- ・ また、表示後「プロパティ」で調整ができます。



【公示地価をスーパーマップル・デジタルで「テキスト」で出力し「土地の用途区分」をフォルダー別アイコン別にクラス分けをします。】 ※KMLファイルを取込、テキスト出力したファイルで行います。

- ① クラス分けをするには「エクセル」該当項目を整理し、で必要な [アイコンID] [フォルダー] 名称の入力が必要になります。
 例：土地の用途区分を例に記載します。
 ※エクセルの [フィルター] 機能などの使用し、不要項目を「非表示」にし、見やすくしてデータを並び替えます。

	A	B	C	D	E	F	BD	BF	BG	BH	BI
1	名称	フリガナ	経度[世界測]	緯度[世界測]	アイコンID	フォルダ	L01_049	L01_050	L01_051	L01_052	L01_054
2	名称未設定		502916670	128242515	0 / 東京地価/	1住居	準防	市街化	-	-	60
3	名称未設定		502888884	128344644	0 / 東京地価/	1住居	準防	市街化	-	-	60
4	名称未設定		502866885	128431818	0 / 東京地価/	1住居	準防	市街化	-	-	60
5	名称未設定		502912703	128708246	0 / 東京地価/	1住居	準防	市街化	-	-	60
6	名称未設定		502978313	128392913	0 / 東京地価/	1中専	準防	市街化	-	-	60
7	名称未設定		502817802	128253837	0 / 東京地価/	1中専	準防	市街化	-	-	60
8	名称未設定		502830078	128289711	0 / 東京地価/	1中専	準防	市街化	-	-	60
9	名称未設定		502717043	128645600	0 / 東京地価/	1中専	準防	市街化	-	-	60
10	名称未設定		503061195	128454872	0 / 東京地価/	2住居	防火	市街化	-	-	60
11	名称未設定		503220996	128382537	0 / 東京地価/	2住居	防火	市街化	-	-	80
12	名称未設定		503190993	128372432	0 / 東京地価/	2住居	防火	市街化	-	-	80

- ② 用途区分別にアイコンを設定するため、下記の表に基づき、[アイコンID] 項目にアイコン番号を入力します。
 例：「1住居」⇒「16」、「1中専」⇒「17」、「2住居」⇒「18」

表示アイコン一覧表

アイコン対応番号

0	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31
32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47
48	49	50	51	52	53	54	55
56	57	58	59	60	61	62	63
64	65	66	67	68	69	70	71
72	73	74	75	76	77	78	79

「用途区分」別に [アイコンID] を入力

	A	B	C	D	E	F	BD	BE	BF
1	名称	フリガナ	経度[世界測]	緯度[世界測]	アイコンID	フォルダ	L01_049	L01_050	L01_051
2	名称未設定		502916670	128242515	16	東京地価/ 1住居	準防	市街化	
3	名称未設定		502888884	128344644	16	東京地価/ 1住居	準防	市街化	
4	名称未設定		502866885	128431818	16	東京地価/ 1住居	準防	市街化	
5	名称未設定		502912703	128708246	16	東京地価/ 1住居	準防	市街化	
6	名称未設定		502978313	128392913	17	東京地価/ 1中専	準防	市街化	
7	名称未設定		502817802	128253837	17	東京地価/ 1中専	準防	市街化	
8	名称未設定		502830078	128289711	17	東京地価/ 1中専	準防	市街化	
9	名称未設定		502717043	128645600	17	東京地価/ 1中専	準防	市街化	
10	名称未設定		503061195	128454872	18	東京地価/ 2住居	防火	市街化	
11	名称未設定		503220996	128382537	18	東京地価/ 2住居	防火	市街化	
12	名称未設定		503190993	128372432	18	東京地価/ 2住居	防火	市街化	

③ 用途区別にフォルダーを設定するため、[フォルダー] 項目に名称を入力し、保存します。

例：「1 住居」⇒「/1住居/」、「1 中専」⇒「/1中専/」、「2 住居」⇒「/2 住居/」

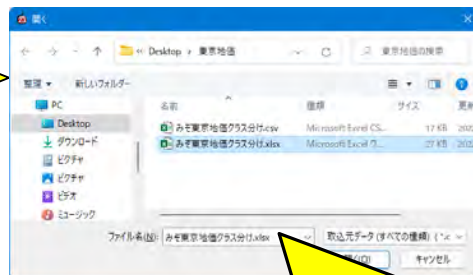
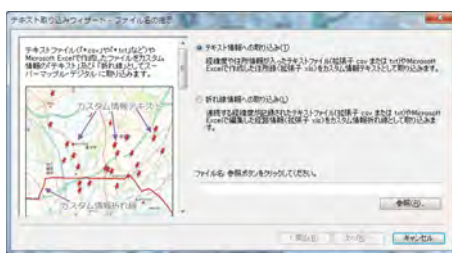
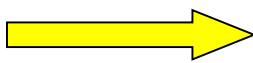
	A	B	C	D	E	F	BD	BE	BF
1	名称	フリガナ	経度[世界測地]	緯度[世界測地]	アイコンID	フォルダー	L01_049	L01_050	L01_051
2	名称未設定		502916670	128242515	16	/東京地価/	1住居	準防	市街化
3	名称未設定		502888884	128344644	16	/東京地価/	1住居	準防	市街化
4	名称未設定		502866885	128431818	16	/東京地価/	1住居	準防	市街化
5	名称未設定		502912703	128708246	16	/東京地価/	1住居	準防	市街化
6	名称未設定		502978313	128392913	17	/東京地価/	1中専	準防	市街化
7	名称未設定		502817802	128253837	17	/東京地価/	1中専	準防	市街化
8	名称未設定		502830078	128289711	17	/東京地価/	1中専	準防	市街化
9	名称未設定		502717043	128645600	17	/東京地価/	1中専	準防	市街化
10	名称未設定		503061195	128454872	18	/東京地価/	2住居	防火	市街化
11	名称未設定		503220996	128382537	18	/東京地価/	2住居	防火	市街化
12	名称未設定		503190993	128372432	18	/東京地価/	2住居	防火	市街化

【重要】
 フォルダーとして入力には「/1住居/」のように半角スラッシュで文字を囲んで入力します。
/(半角) クラス分け名称 /(半角)

	A	B	C	D	E	F	BD	BE	BF
1	名称	フリガナ	経度[世界測地]	緯度[世界測地]	アイコンID	フォルダー	L01_049	L01_050	L01_051
2	名称未設定		502916670	128242515	16	/1住居/	1住居	準防	市街化
3	名称未設定		502888884	128344644	16	/1住居/	1住居	準防	市街化
4	名称未設定		502866885	128431818	16	/1住居/	1住居	準防	市街化
5	名称未設定		502912703	128708246	16	/1住居/	1住居	準防	市街化
6	名称未設定		502978313	128392913	17	/1中専/	1中専	準防	市街化
7	名称未設定		502817802	128253837	17	/1中専/	1中専	準防	市街化
8	名称未設定		502830078	128289711	17	/1中専/	1中専	準防	市街化
9	名称未設定		502717043	128645600	17	/1中専/	1中専	準防	市街化
10	名称未設定		503061195	128454872	18	/2住居/	2住居	防火	市街化
11	名称未設定		503220996	128382537	18	/2住居/	2住居	防火	市街化
12	名称未設定		503190993	128372432	18	/2住居/	2住居	防火	市街化

④ スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込] の [テキスト] をクリックし、[参照] をクリックします。

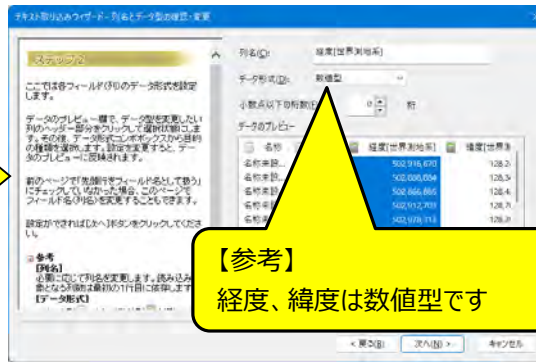
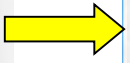
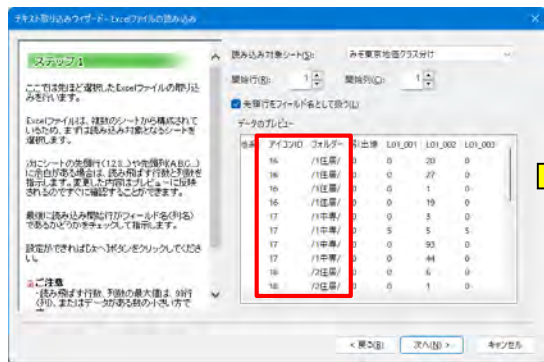
・地図に表示するため「クラス分け」するデータファイルを選択し「開く」→「次へ」をクリックします。



【参考】
 CSVでもエクセルファイル(.xlsx)でも取込めます。

⑤ [ステップ1] は「データのプレビュー」で項目名 [クラスID] [フォルダー] のデータ表示を確認し [次へ] 。

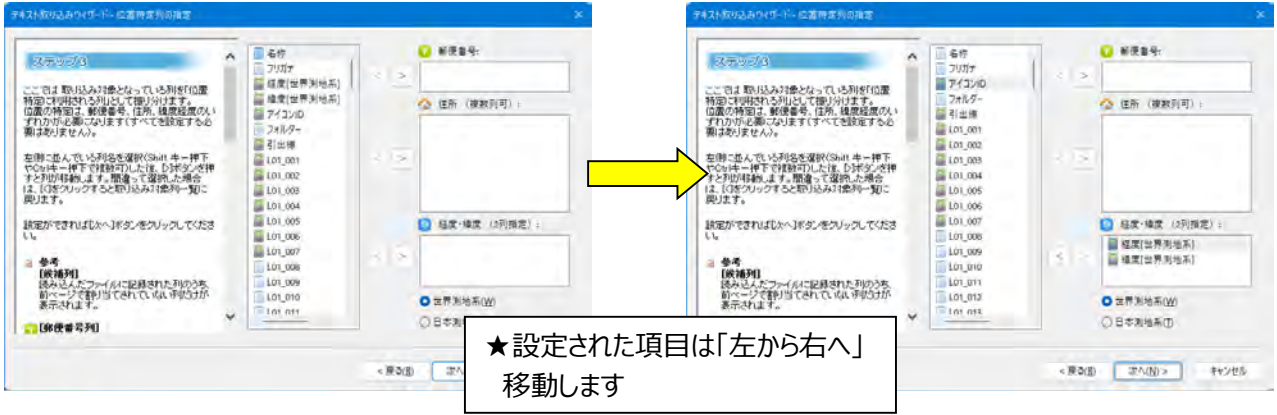
[ステップ2] では、各列（項目名）のデータ形式を確認します。



【参考】
 経度、緯度は数値型です

⑥ [ステップ3] は、表示位置を特定するには、「郵便番号」「住所」「経度・緯度」のいずれかで特定します。

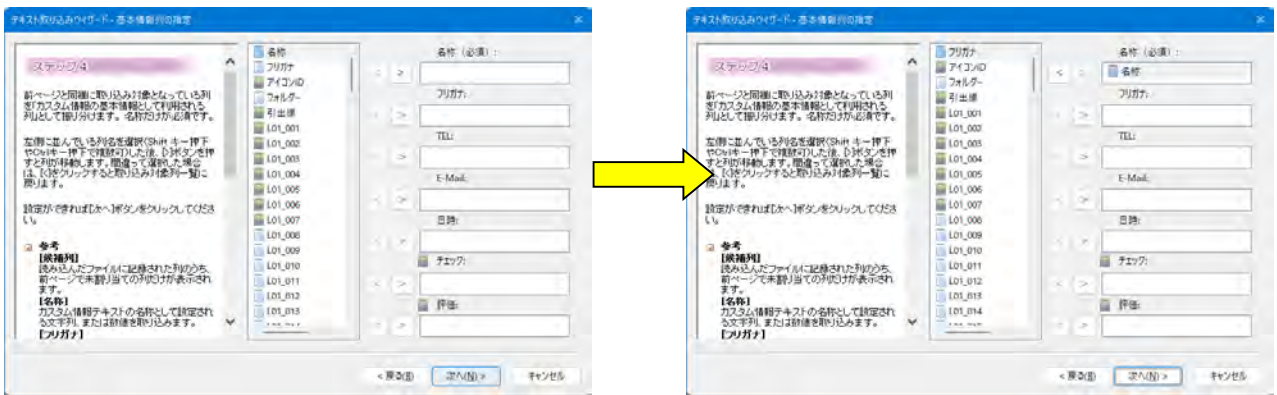
※例：経度緯度で表示位置を特定



★設定された項目は「左から右へ」移動します

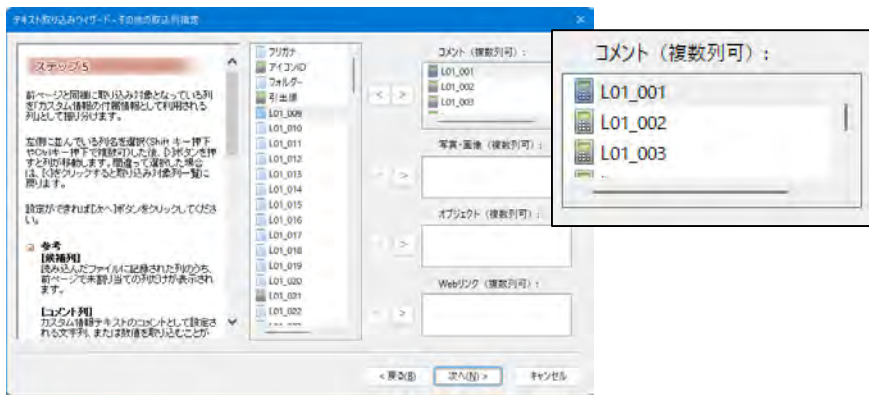
【重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

⑦ [ステップ4] は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します



★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑧ [ステップ5] は、「取込欄」にない項目を「コメント」欄に取り込みます。複数の項目を取り込むことができます

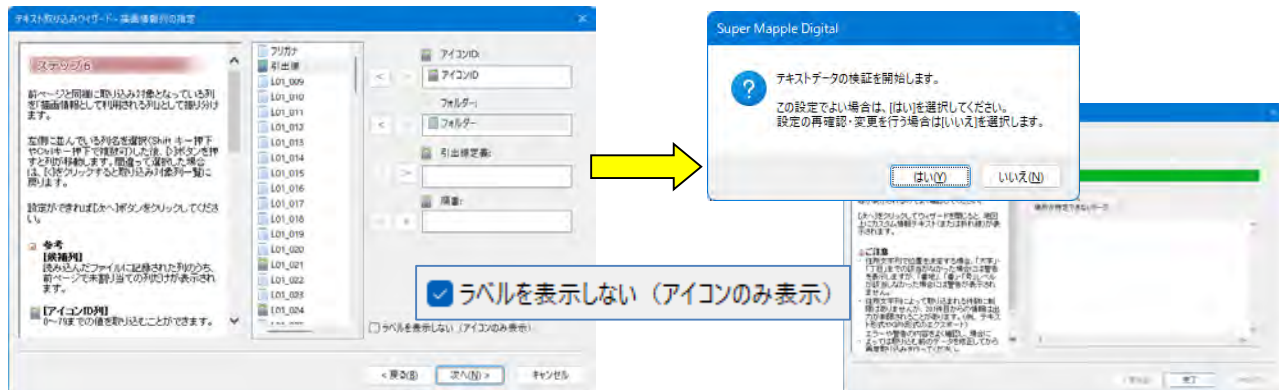


⑨ [ステップ6] は、エクセルで整理された情報を使用します。

- ・「アイコンID」を [アイコンID] へ
- ・「フォルダー」を [フォルダー] へ

[次へ] → [はい] をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。[完了] をクリックします。

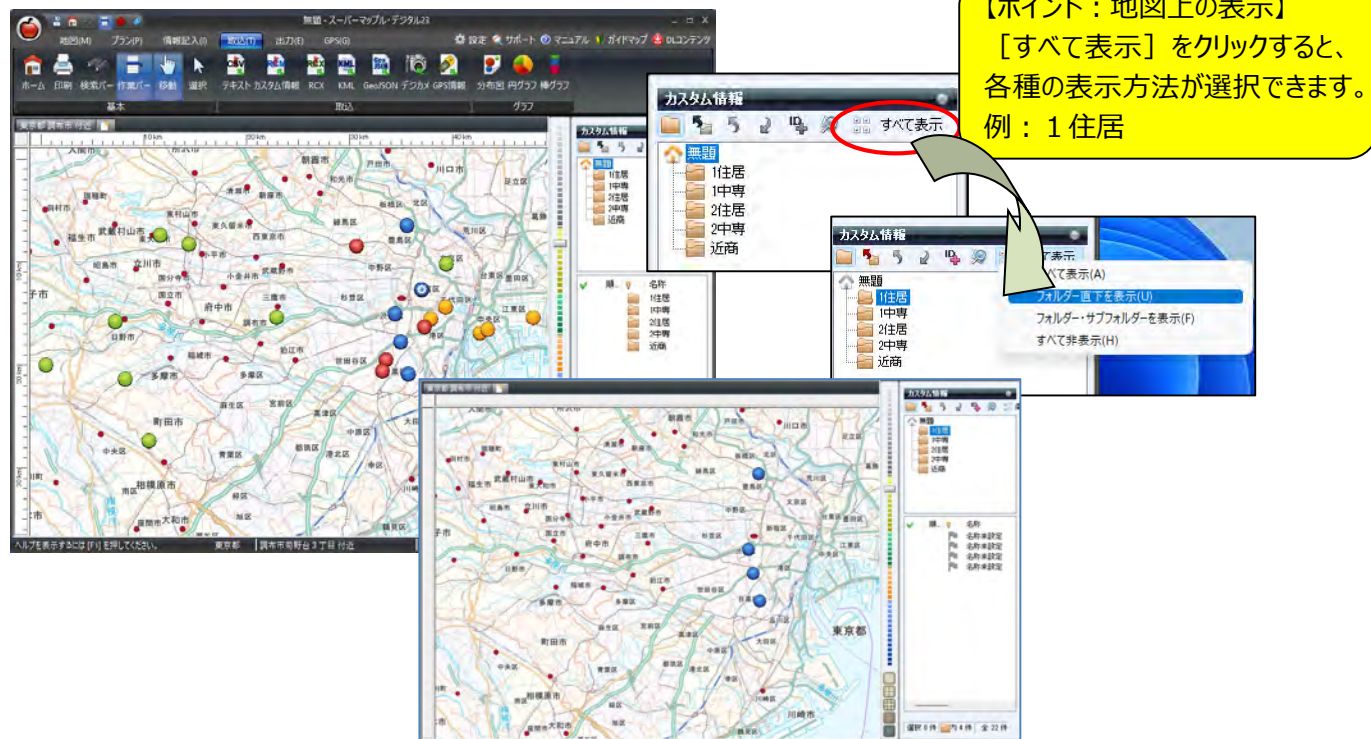
※「ラベル表示をしない（アイコンのみ表示）」に☑を入れると、スッキリ表示されます。



⑩ 地図上に情報が「アイコン別」、カスタム情報欄に「フォルダー別」に表示されます。

- ・画面に表示されていない場合は、カスタム情報欄でデータをWクリックし、「名称」をクリックしますと、地図が移動します。
- ・[すべて表示] をクリックし、[フォルダー直下を表示] などを選択すると、絞り込まれて表示されます。

※データ数はマニュアル用のサンプル数で行っております。



【ポイント】：「エクセル」で、どの項目を「クラス分け」するか

- ・価格帯別
- ・エリア別など

エクセルの編集により表示可能となります

注意事項

製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。